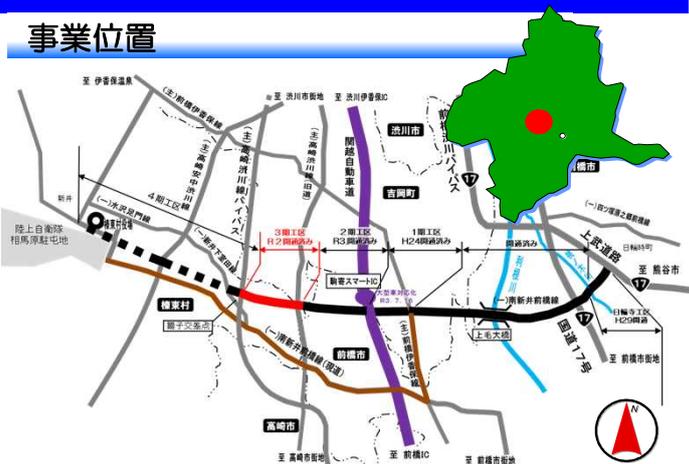


事業概要

- 所在地: 榛東村新井 ~ 吉岡町陣場
- 路線名: 一般県道 南新井前橋線
- 事業内容: バイパス整備 延長 0.9km 幅 15.5m
- 全体事業費: 約14億円
- 事業期間: 平成27年度~令和2年度(6年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 開通前交通量(H27): 6,162台/日(現道_自動車)
: 16人/12時間(現道_歩行者)
: 136台/12時間(現道_自転車)
- 実績交通量(R3): 7,887台/12時間(現道_自動車)
: 5,227台/12時間(バイパス_自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました



- ・県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。(地域住民)
- ・防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・駒寄スマートICが大型車対応になれば、渋川伊香保ICではなく駒寄スマートICを利用する。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後
移動時間 (小倉工業団地~駒寄スマートIC)	約16分	約10分(6分短縮)
清野町交差点の渋滞長	150m	0m(150m短縮)

実施前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



現道の渋滞状況(南新井前橋線)

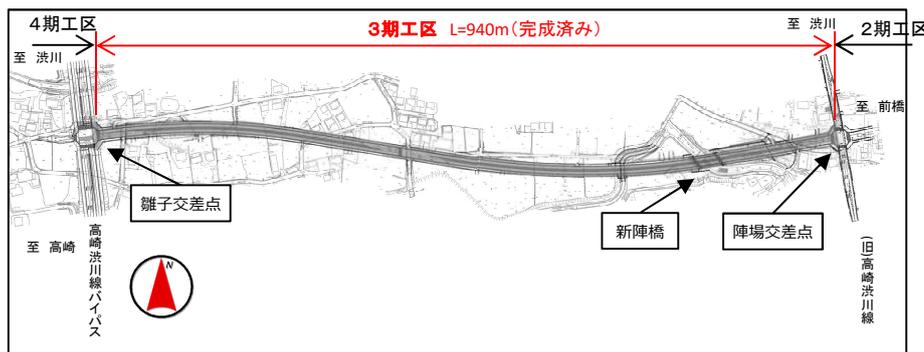
実施後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



完成後

事業の進捗状況(R2年度完了)



今、何をしているか

令和2年度に3期工区の整備が完了しました。令和3年度の2期工区完成とあわせ、高崎渋川線バイパス、駒寄SIC、上武道路がつながりました。



3期の開通状況

事業のすすみ具合



事業開始

事業完了